

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設開設時の理念での支援内容に取り組んでいたが、新体制となっても今後の施設の在り方、支援の方向性等の職員間での周知や議論が不十分。	今後の施設の在り方、支援の方向性に結びつく理念を職員全員で周知、議論の上新たに作成し、取り組んでいく。	職員全員の意見をピックアップし、手法に則ったり理念を作成していく。	1ヶ月
2	35	防災対策マニュアルが不備であり、地域との協力体制が不十分。	防災対策マニュアルの作成をし、近隣住民近隣小学校等地域の協力体制を密にし、職員を含め体制を整える。	消防署との防災訓練の継続。夜間帯想定 of 訓練も取り入れ、夜間帯の応援協力体制を整える。地域住民 小学校等地域の方々の協力を求め、遂行する。	1ヶ月
3	52.5	清潔感や安全性を考え、物や装飾等もほとんどなく、スペースを上手く利用できていなかった。	あらゆる空間を利用し、明るさ 季節感 温かさ等が常に感じれる生活の匂いがする空間づくりに利用者さん含め、職員全員で取り組み、自然と楽しい会話がはずむ空間、人が集まる空間を作っていく。	庭やウッドデッキに気軽にくつろげる様、椅子テーブルの設置。ご家族含め居室の空間づくり。施設内季節感のある装飾や、利用者さんの作品、思い出のある物を掲示していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。